

授業概要

経済学に関する予備知識として、経済とは何か、経済学とはどのような学問なのかについてのイメージを持てるようにする。経済学の歴史と理論そして現実経済の問題について関連付けながら講義する。経済学的な思考方法や経済関連の時事的問題にも関心が持てるような講義を目指す。

授業計画

第 1 回	経済学のルーツは何か(ガイダンス)
第 2 回	経済学はどこから始まるのか
第 3 回	重商主義と商業のシステム
第 4 回	経済学は自然をどうとらえたかー重農主義と農業
第 5 回	貨幣について
第 6 回	貨幣経済論と貨幣数量説
第 7 回	経済とはお金の問題だけではない
第 8 回	人口と経済学
第 9 回	経済学の主流派と反主流派
第 10 回	GDP について
第 11 回	アダム・スミスの経済思想
第 12 回	アダム・スミスの娘達
第 13 回	アダム・スミスの息子たち
第 14 回	経済学の法則ー賃労働と資本
第 15 回	経済学の法則ー価値の問題
第 16 回	定期試験

到達目標

経済学における思想や歴史、理論、そして現代の経済社会の現状を総合的に学び、広い範囲で経済学の基本的な知識を習得すること。

履修上の注意

Teams の資料や講義ノートを中心に学習すること。時事問題に関心を持ち経済との関係を意識すること。

予習・復習

ノートを整理する。配布された資料等をよく読んで理解する。

評価方法

定期試験と確認テストをする(課題レポートの場合もある)。定期試験 60%、確認テスト 40%の配分で評価する。

テキスト

授業中に参考文献を指示する。